



聖ペトロ・聖パウロ

カトリック延岡教会

令和4年8月

ST.Peter & ST.Paul Nobeoka Catholic Church

〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-3 ☎0982-32-6501◇FAX0982-20-4640◇HPwww.nobeoka-catholic.com

No50

延岡教会年間目標「福音宣教に向けて心を尽くしましょう。」

教皇フランシスコ回勅「兄弟のみなさん」を通して

《愛の固有の価値》

さまざまな倫理的徳の行為に適切な方向性を与えるには、対他者の開放と結合のダイナミズムを生み出せるかを考えなければなりません。このダイナミズムが、神によってかき立てられる愛なのです。そうでなければ、見せかけの徳しか得られず、交わりある人生を築くことが出来なくなるでしょう。それゆえ、聖トマス・アクィナスは、「欲張りどもの剛毅、それは徳ですらないのです」と述べます。聖ボナヴェントウラは、愛がなければ、その他の諸徳は厳密に言って、「神が望んでおられるように」は、掟を全うできないと説いています。人生における霊的なレベルは、「人生が価値あるものとされるかされないかを最終的に決める基準」である愛によって量られます。

・・・わたしたち信者は皆、愛が第一であり、最大の脅威は愛さないことなのだ、知らなければなりません。

神が恵みによって可能にしてくださる愛する経験がいかんにか、聖トマス・アクィナスは、相手を「ある意味で自分と一体である・・・ものとみなし」てその人に注意を向ける運動だと説きました。これは、すべて、尊敬と尊厳から始まります。

・・・愛は、あまたの慈善行為以上のものです。

《愛のますますの寛容さ》

愛は、普遍的な交わりへとわたしたちを向かわせます。愛はダイナミズムによって、ますます寛容さ、他者を受け入れるいっそうの力を求めます。

イエスはわたしたちに「あなたがた・・・は皆兄弟なのだ」（マタイ23:8）といわれました。

自分の意限界を超え出るようにとのこの要求は、さまざまな地域や国の間においてもいえることです。

《すべての人から成る開かれた社会》

周縁部は、わたしたちの身近なところに、家庭の中にさえも存在します。そしてまた、愛の普遍的な開放性というものもあります。それは、身近にいても、自分が感心をもつ世界に関係があるとは思えない人に近づいていく、仲間を広げようとする才能のことです。その一方で、この社会で苦しみ、見捨てられ、ないがしろにされる兄弟姉妹はだれしも、同じ国に生まれたとしても、実存的な意味での異邦人です。人種差別は簡単に変異するウイルスであり、消滅せずに隠れて、待ち伏せているのです。

社会で異質な存在として扱われる、「隠れた追放者」について触れたいと思います。障害のある多くの方は、「自分たちは帰属も参画も出来ずにいる存在だと感じています。」目指すのは、彼らを世話することだけではなく、彼らが「市民社会及び教会共同体に積極的に参画できるようにすることです。それは、一人ひとりを、唯一無二のかけがえのない人として大切にする意識の形成に寄与する、骨の折れる道のりです」。同じく、心に浮かぶのは「高齢者のことです。高齢ゆえの障害から、自分をお荷物だと思ってしまうこともあるのです。」、それでも、すべての人が、「自分だけの特別な来歴を通して、共通善への唯一無二の貢献」が出来るのです。

《普遍的な愛の不十分な理解》

境界線を越えて広がる愛は、それぞれの年や国で、「社会的友愛」と呼ばれる根底にあります。社会においてこの社会的友愛が本物であれば、それは、真の普遍的な寛大さを可能とする条件になります。これは、自分のいるグループに我慢がならず愛せないため、つねに移動せずにはいられない人の、誤った普遍主義とは異なります。普遍主義の間違った夢は、世界から多様な色彩、美、そしてついには人間性を奪うことになるのです。

※9月号に続きます。

ミサの案内

主 日	平 日
18時30分～(土曜日):延岡教会 6時20分～(日曜日) :聖心ウルスラ修道院聖堂 9時30分～(日曜日):延岡教会	6時20分～ :聖心ウルスラ修道院聖堂 ★10時～(毎月第1金曜日) :延岡教会

◎ミサのついて

1) 8月14日(日)のミサの意向は、「**納骨堂に納められている方々の永遠の安息のため**」となります。また、信徒の皆様の申込も受け付けますので、所定の用紙にご記入ください。

2) 8月15日(月)「**聖母の被昇天**」の祭日ミサは、午前9:30より行われます。

◎勉強会(金曜日)について

1) 7月22日(金)から、お休みになります。

2) 再開は、9月12日(金)からとなります。

3) 休み中の金曜日は、勉強会に代えて「ミサ」を行いますので、ご自由にご参加ください。

※ミサ実施日は、7月22日(金)・29日(金)、8月5日(金)・12日(金)・19日(金)・26日(金)・9月5日(金)です。午前10時から始まります。

◎平和の集いについて

※8月7日(日)宮崎教会での「平和の集い」は、午後13:30から森山司教様の講話、ミサとなる変更がありました。

◎マリア会の集会について

1) 8月21日(日)のミサ後に、教会内においてマリア会の集会を行います。

2) 代表者より、マリア会の目的などについて話が行われます。

◎赦しの秘跡について

日曜日:午前8時45分から9時15分の間、告解室にて行います。

◎主任司祭の動向

8月8日(月)と9日(火)は、講師依頼のため不在となります。

◎聖書朗読者一覧(朗読者名は、教会報8月号印刷物にて確認してください。)

月 日	主 日	第1朗読:朗読者氏名	第2朗読:朗読者氏名
8月 7日	年間第19主日		
8月14日	年間第20主日		
8月21日	年間第21主日		
8月28日	年間第22主日		
9月 4日	年間第23主日		